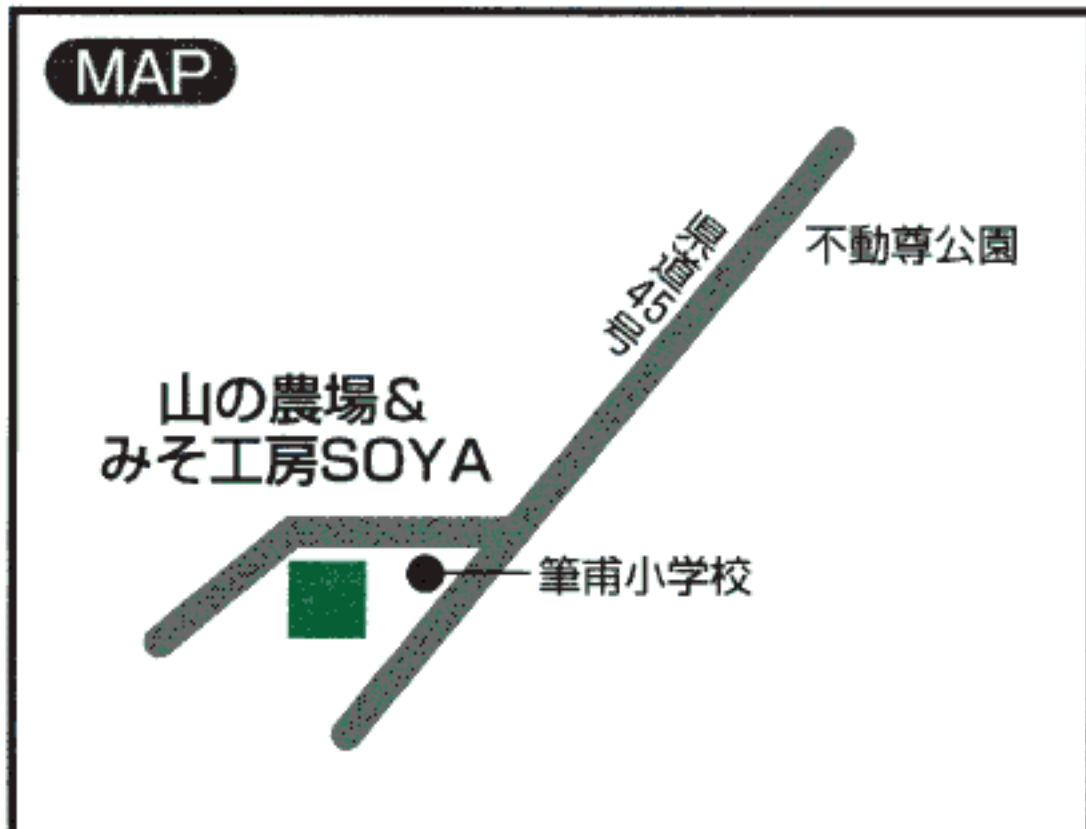


21 丸森町

山の農場&みそ工房 SOYA (そや)

☎0224-76-2015

住所:宮城県伊具郡丸森町筆甫字細田103-13
FAX:0224-76-2015
e-mail:soya@k2.dion.ne.jp



[交通・アクセス]
◆丸森駅から筆甫行きのバスがありますが本数は少ないです。

大豆と米の栽培から始まる味噌づくり。

都会での自然から切り離された生活に疑問を持ち、東京から移住して丸8年になります。

大豆と米を無農薬で栽培し、冬場に味噌に仕込むのが仕事です。特別に体験学習のプログラムを組んでいるわけではないので、見学等は人数は多くてもかまいませんが、体験はある程度人数が限られます。(田植え(手植え)、稲刈り、その他作業に参加してもらいます)

味噌の仕込みは希望があれば体験学習のようなものも出来るようにしていきたいと思っています。

筆甫という名にちなんで“ひっぽ筆まつり”というお祭りを毎年開催するなど元気な地区です。

まだまだ体制が整っていませんが、今後地区としても地元の子どもの交流、



代表 太田茂樹さん

体験学習「山の学校」のようなものも開催が検討されています。

今後も田舎の新住民がもっと増えて、地元の人と一緒に面白く地域づくりを続けていければと思っています。



●受け入れ体制・時間

- 個人なので相談によって。
- 連絡はTELで直接お話ししたいと思います。

●諸経費

- 同上

22 丸森町

耕野(こうや) たからもの発見団

☎0224-75-3660

住所:宮城県伊具郡丸森町耕野字白五郎25(清水方)
FAX:0224-75-3660



[交通・アクセス]
◆車で仙台から約90分、福島から約50分◆あぶくま急行「あぶくま」駅から送迎可能(200円)
※上記は集合・解散場所の「ふるさと交流センター」を基準にしています。*バスは本数が少なく不便です。

里山のたからもの見つけに行こう。

●これまで行ってきたこと (くみずりい体験ツアー)

- ▲きのこ篇(3月)
きのこの植菌体験と、里山を歩いて春を探す、きのこを味わう、いちぢくの苗木を植える、など。
- ▲甘くて酸っぱい危険な関係(6月)
梅の収穫と加工(梅酒、梅ジュースづくり)、はちみつの採蜜体験、しぼりたてのはちみつできなこ飴をつくる、蜜ろうキャンドルづくりなど。
- ▲田んぼ篇(10月)
手刈りで稲刈り&はせ掛け体験。もちつきや100年後の森づくり(ドングリを拾って鉢に植え、持ち帰って育てもらう)なども。

●これからやってみたいこと

- ・夏休み親子企画
- ・露天風呂づくり
- ・竹の流しそーめん&My箸づくり
- ・星空観察
- ・炭焼き、薪割り体験
- ・まゆ(シルク)からの糸紡ぎ・手工芸
- ・稲ワラ・麦ワラを使ったもの
- ・桑子とり&加工(ジャムづくり)体験
- ・こんにゃくづくり などなど



団長 清水千佳さん

★たけのこ掘りや干し柿づくり体験は地元の組合が主催しており、受け入れ可能です。

●受け入れ体制・時間

- 現在のところイベント開催時(3~10月)
- 希望日時に合わせることも可能

●諸経費

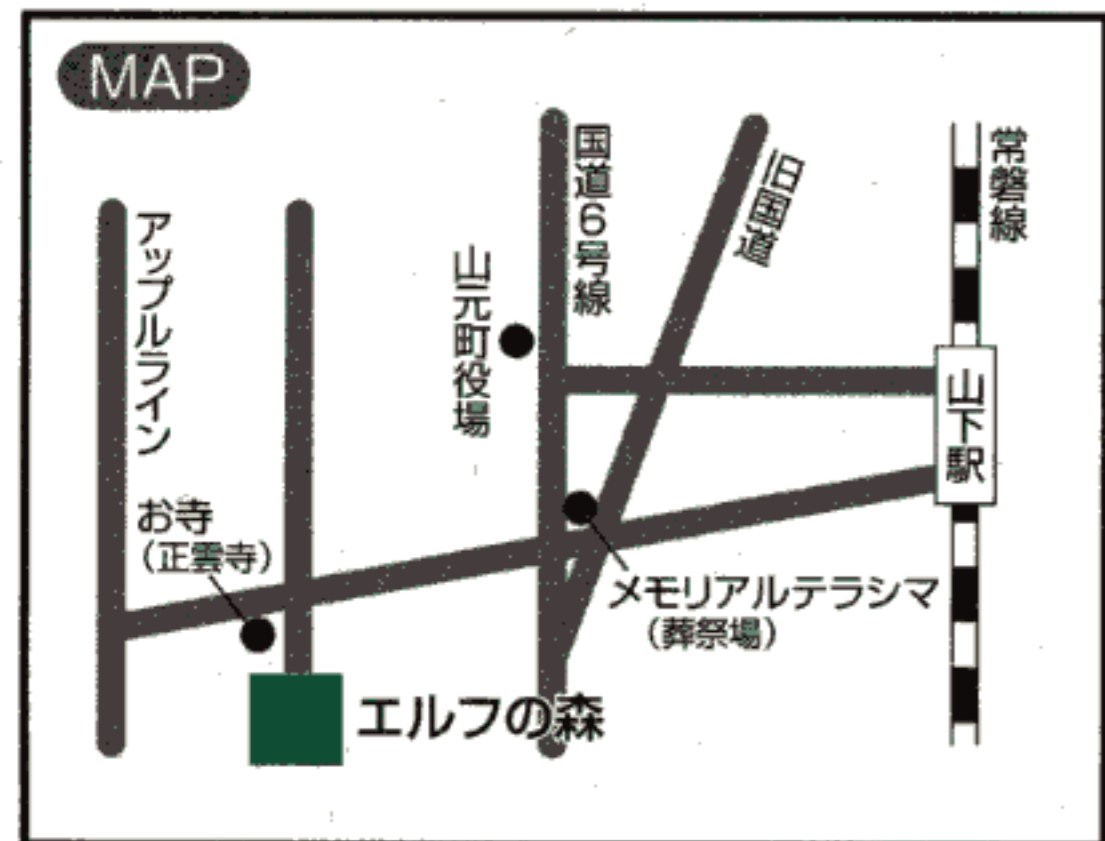
- 参加費1人2,000~3,000円(1回)(保険料・昼食含)
- 体験の内容により材料費等多少増減します。

23 山元町

いわさハーブ園 「エルフの森」

☎0223-37-0463

住所:宮城県亶理郡山元町浅生原字畑69-1



[交通・アクセス]
 ◆JR常磐線山下駅から車で7分
 ◆山元町役場(6号線沿い)から車で4分

ハーブと共生して来た 先人の知恵を学ぶ。

- 春の香を楽しむ——ハーブ園周辺の田舎道を散策し、草花の名を覚える。食べられる野草、山菜をつんで天ぷらにし、いただく。ハーブの天ぷら&サラダなどもいっしょに。(5月頃)
- ハーブの寄せ植え——料理によく使うキッチンハーブ5、6種類をプランターに寄せ植えする。葉の形や香りの違いなどを楽しむ。(6月頃)
- ホテルの見学会——「エルフの森」のホテルと夜のハーブ園の幻想的な雰囲気を楽しむ。様々な香りのミックスされたハーブ園の中をホテルが点滅している。(6月末頃、夜)
- ラベンダーのクラフト作り——ラベンダーを摘んで3種類位のクラフトを作る。ラベンダーの花かご、スティック、ファンなど。(7月のはじめ頃)



代表 岩佐和子さん

- クリスマスリース、あけびのかご、ポプリづくりなど——月桂樹&ローズマリーなどハーブを使ったリース、バラ&ラベンダーでつくる「香りの贈り物」=ポプリを作る。(11月頃)

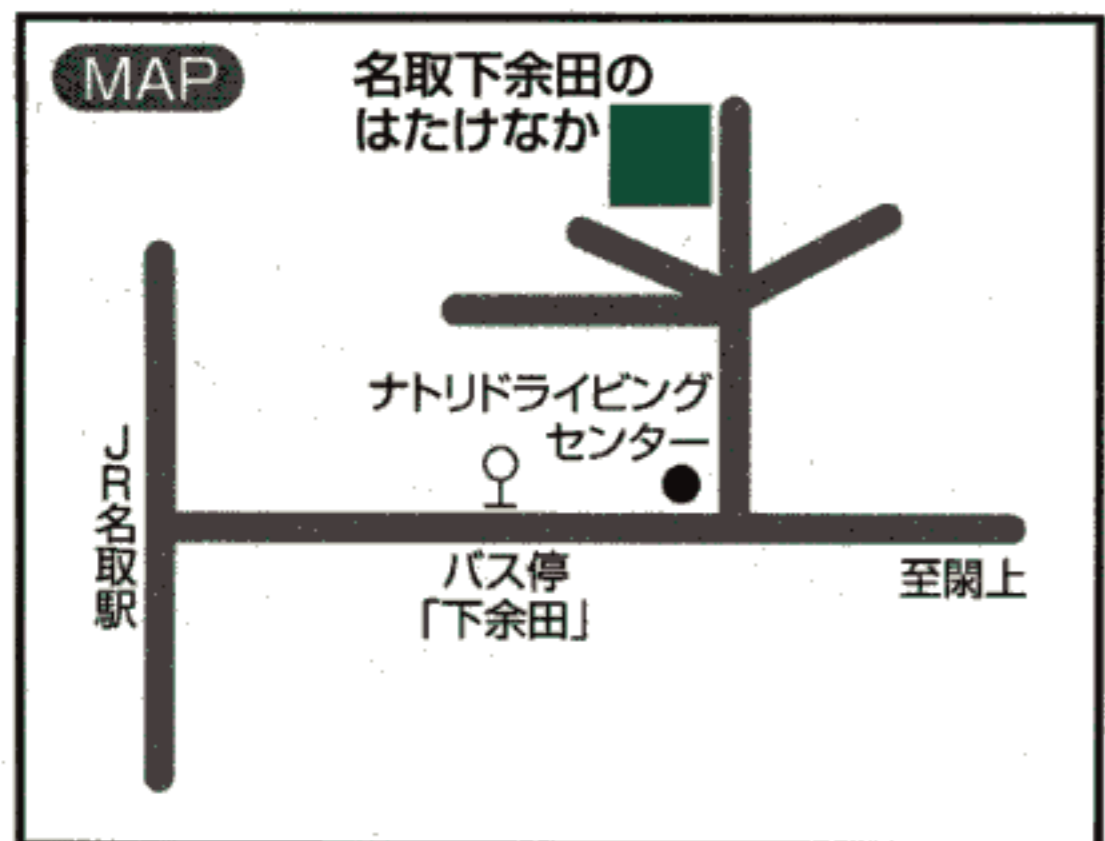
- 受け入れ体制・時間
 - 5月~11月
 - 10:00~ 2時間ぐらい
- 諸経費
 - 会費1人1回1,000円+材料費

24 名取市

名取下余田の はたけなか

☎070-5573-1211

住所:宮城県名取市下余田字飯塚410-3
 FAX:022-382-4606
 e-mail:miura@zephyr.dti.ne.jp
 URL:http://plaza.rakuten.co.jp/shimoyoden/



[交通・アクセス]
 ◆JR名取駅よりバスで「関上」行きにのり、「下余田」下車、徒歩15分程度。

土と環境との つながりを。

減農薬で持続可能な生態系にやさしい農業を实践。

体によい水から、体によい食べものが生まれます。よい体の土から、体によい食べものが生まれます。

水とひとつ、土とのつながりを、おいしく感じられたらと思います。

春夏秋冬によって、田んぼ、畑、屋敷林などの活動場所が変わります。

- ・芹の収穫体験は11月~3月くらい。
- ・大根・白菜は10月~12月くらい。
- ・みょうがたけ収穫体験は6月いっぱい。
- ・枝豆収穫ずんだもちづくりは9月前後

プログラム例としては、

- 〈夏〉
 枝豆収穫、野菜収穫、おくすかけずんだもちづくり。



代表 三浦隆弘さん

- 〈冬〉
 芹つみゆずジャムうまいなべ。農家の正月などがあります。内容の濃い体験を参加者みんなで共有するのが目的ですので、参加人数は、どうしても15人前後になってしまいます。

- 〈自然体験活動指導資格〉
- CONE認定 自然体験活動リーダー
 - RAC認定 リバーマスター
インストラクター
 - プロジェクトワイルド エドゥケーター

- 受け入れ体制・時間
 - 人数は15人位まで。
 - 季節、内容によります。
- 諸経費
 - 同上